

令和4年5月吉日

関東支部 大河原 敏男

送付物に関する解説及び当時の思い出に関する所感／雑感

## I. 刊行物

### 1. シエルタイムスに関する思い出

昭和38年(1986)4月、シエル石油株式会社に入社できましたが、前年の秋ごろにはすでに内定が決まっており、毎月自宅に郵送されてくるシエルタイムスの写真・記事を見るにつけ日本の未だ戦後状態が続いている貧しい生活環境下を超越した夢のような会社であることがわかり、こんな立派な会社に入社してやっていけるのだろうかという不安に対して、毎回社内誌”シエルタイムス”に添付された書簡で、「最後の有意義な学生生活を送ってください、貴方の入社をお待ちしております。」という激励のメッセージがあり、お蔭様で希望を抱いて入社することができました。

私にとってはシエルタイムスがすべて会社の顔となりました。

入社式は、横浜のトレーニングセンターで挙行され、出掛けに母が「家の中が急に明るくなった」と言ってみ送ってくれました。入社式ではハンバ一副社長さんからの”Every thing depends on you”のメッセージと訓練コースで紅林さんの”企業の全人生”というメッセージを座右の銘として

会社生活で色々と紆余曲折はあったもののシエルで生涯の大半を送ることができました。ご指導、ご鞭撻を賜りました皆様に厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

シエル石油での懐かしい思い出として、昭和 38 年 4 月に入社したテクニカル担当スタッフ 12 名は約 6 ヶ月の社外での現場トレーニングを受けましたが、中でも思い出になっているのは二班に分かれて青函連絡船空知丸、十和田丸のオーバーホールに立ち会いながら船用内燃機関の構造を勉強することができ、組み立て後、津軽海峡の試運転に同乗でき、爽やかな海風

を受けながらデッキで寛げたことがよい思い出になっております。訓練終了後は、マリーナ担当(漁船、内航船、外航船の船用潤滑油、燃料供給)の配属になり、函館ドッグでの実習が生かされました。その時の模様が「シエルタイムス

Vol13, No. 156 1963 年 7 月 8 日号」に掲載されていたのを見つけました。



●尚、自宅に保管しているシエルタイムスのバックナンバー(昭和37, 38, 39, 40 年版)を掲載しておきます。もし、ご必要でしたら申し出て下さい。送付します。返却不要です。



- ・昭和 37 年(1962)9. 15 日号 Vol. 12. No. 136
- ・昭和 37 年(1962)10. 1 日号 Vol. 12. No. 137
- ・昭和 37 年(1962)10. 15 日号 Vol. 12. No. 138
- ・昭和 37 年(1962)11. 12 日号 Vol. 12. No. 140
- ・昭和 37 年(1962)11. 26 日号 Vol. 12. No. 142
- ・昭和 37 年(1962)12. 10 日号 Vol. 12. No. 142
- ・昭和 37 年(1963)1. 1 日号 Vol. 13. No. 143

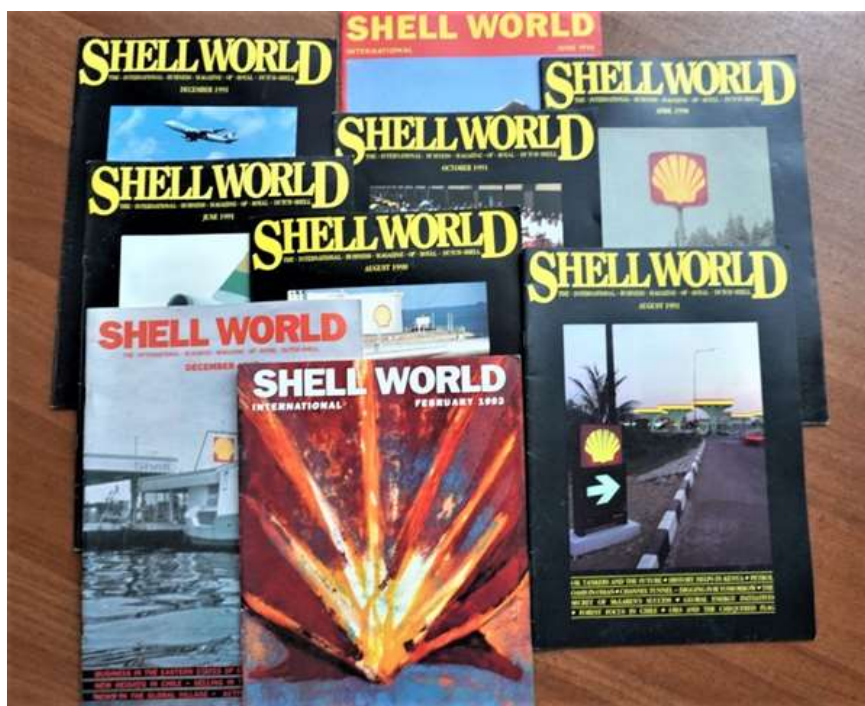
- ・昭和 37 年(1963)1. 21 日号 Vol. 13.No. 144
- ・昭和 37 年(1963)2. 4 日号 Vol. 13.No. 145
- ・昭和 37 年(1963)2. 18 日号 Vol. 13.No. 146
- ・昭和 38 年(1963)3. 4 日号 Vol. 13.No. 147
- ・昭和 38 年(1963)3. 18 日号 Vol. 13.No. 148
- ・昭和 38 年(1963)4. 1 日号 Vol. 13.No. 149
- ・昭和 38 年(1963)4. 29 日号 Vol. 13.No. 151
- ・昭和 38 年(1963)5. 13 日号 Vol. 13.No. 154
- ・昭和 38 年(1963)5. 27 日号 Vol. 13.No. 153
- ・昭和 38 年(1963)6. 10 日号 Vol. 13.No. 154
- ・昭和 38 年(1963)6. 24 日号 Vol. 13.No. 155
- ・昭和 38 年(1963)7. 8 日号 Vol. 13.No. 156
- ・昭和 38 年(1963)7. 22 日号 Vol. 13.No. 157
- ・昭和 38 年(1963)8. 5 日号 Vol. 13.No. 158
- ・昭和 38 年(1963)9. 30 日号 Vol. 13.No. 161
- ・昭和 38 年(1963)10. 28 日号 Vol. 13.No. 163
- ・昭和 38 年(1963)12. 9 日号 Vol. 13.No. 166
- ・昭和 38 年(1963)12. 23 日号 Vol. 13.No. 167
- ・昭和 39 年(1964)2. 3 日号 Vol. 14.No. 170
- ・昭和 39 年(1964)2. 17 日号 Vol. 14.No. 171
- ・昭和 39 年(1964)3. 16 日号 Vol. 14.No. 173
- ・昭和 39 年(1964)3. 30 日号 Vol. 14.No. 174
- ・昭和 39 年(1964)5. 11 日号 Vol. 14.No. 177
- ・昭和 39 年(1964)5. 25 日号 Vol. 14.No. 178
- ・昭和 39 年(1964)6. 8 日号 Vol. 14.No. 179
- ・昭和 39 年(1964)6. 22 日号 Vol. 14.No. 180
- ・昭和 39 年(1964)7. 6 日号 Vol. 14.No. 181
- ・昭和 39 年(1964)7. 20 日号 Vol. 14.No. 182
- ・昭和 39 年(1964)8. 17 日号 Vol. 14.No. 183
- ・昭和 39 年(1964)8. 31 日号 Vol. 14.No. 184
- ・昭和 39 年(1964)9. 14 日号 Vol. 14.No. 185
- ・昭和 39 年(1964)9. 28 日号 Vol. 14.No. 186
- ・昭和 39 年(1964)11. 9 日号 Vol. 14.No. 190
- ・昭和 39 年(1964)11. 23 日号 Vol. 14.No. 191
- ・昭和 39 年(1964)12. 7 日号 Vol. 14.No. 192
- ・昭和 39 年(1964)12. 21 日号 Vol. 14.No. 193
- ・昭和 40 年(1965)1. 4 日号 Vol. 15.No. 194
- ・昭和 40 年(1965)2. 15 日号 Vol. 15.No. 197

- ・昭和 40 年(1965)3. 1 日号 Vol. 15.No. 198
- ・昭和 40 年(1965)3. 15 日号 Vol. 15.No. 199
- ・昭和 40 年(1965)4. 12 日号 Vol. 15.No. 201
- ・昭和 40 年(1965)5. 10 日号 Vol. 15.No. 203
- ・昭和 40 年(1965)5. 24 日号 Vol. 15.No. 204
- ・昭和 40 年(1965)6. 7 日号 Vol. 15.No. 205
- ・昭和 40 年(1965)6. 21 日号 Vol. 15.No. 206
- ・昭和 40 年(1965)7. 5 日号 Vol. 15.No. 206
- ・昭和 40 年(1965)8. 2 日号 Vol. 15.No. 209
- ・昭和 40 年(1965)8. 30 日号 Vol. 15.No. 211
- ・昭和 40 年(1965)9. 13 日号 Vol. 15.No. 212
- ・昭和 40 年(1965)9. 27 日号 Vol. 15.No. 213

## 2. SHELL WORLD;International.Shell Group 社員用誌

下記の写真に掲載した 9 冊が自宅にありました。

- ・ April, 1990 ・ August, 1990. ・ June, 1991. ・ August, 1991.
- ・ October, 1991. ・ December, 1991. ・ December, 1993.
- ・ December, 1992. ・ February, 1993. ・ June, 1995.



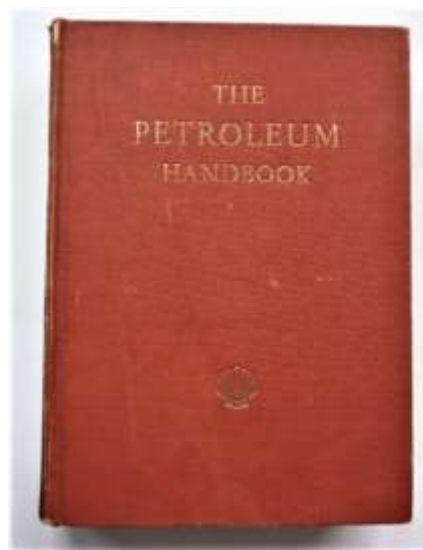
### 3. シエルの PR 誌

- ・ シエルグラフィック;1966年12月発行
- ・ 研究所案内;シエル石油株式会社/昭和石油株式会社;1967/2
- ・ エネルギーで世界を結ぶ—シエル’80;1980年3月発行
- ・ 日本のシエル;1983年2月発行
- ・ SHELL TECHNOLOGY Energy optimization in refineries;2/1981
- ・ 日本のシエル100年の歩み;The Centenary of Shell in Japan;2000/4
- ・ A History of the Royal Dutch/Shell Group of Companies.

ロイヤル・ダッチ/シエル グループのあゆみ;発行年不明



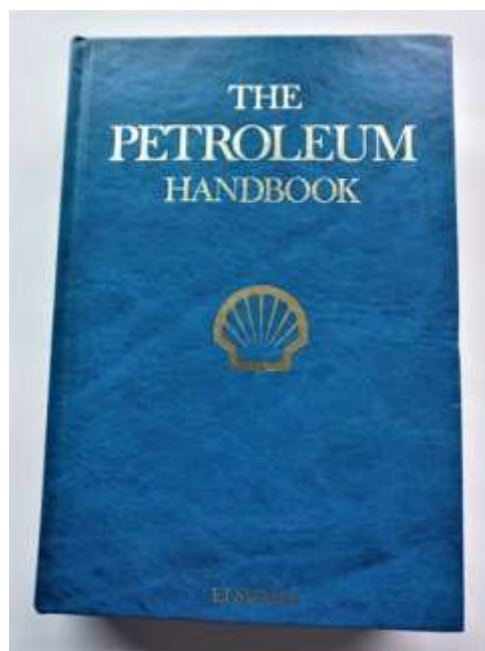
#### 4. 研修会用テキスト



昭和 38 年(1963)入社時の訓練コースで使用； LIMITED

THE PETROLEUM HAND BOOK, FOURTH EDITION;SHELL INTERNATIONAL PETROLEUM  
COMPANY LIMITED LONDON 1959. (赤表紙)

- 上記の改訂版( 青表紙)

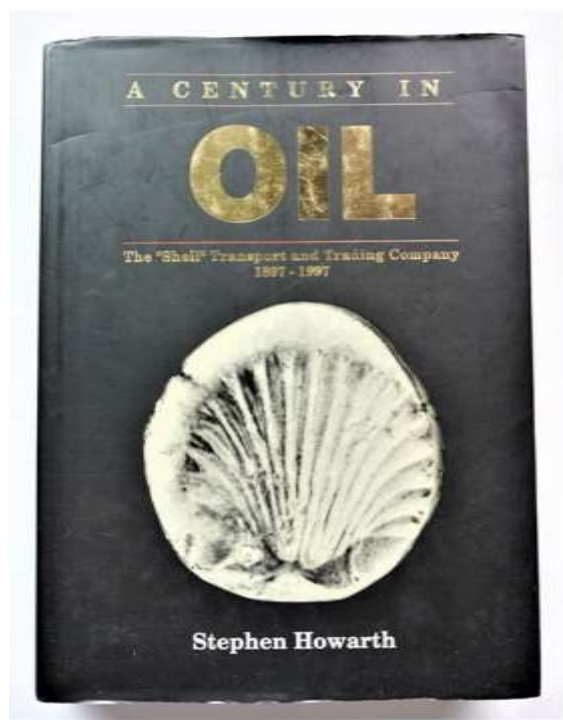


- THE PETROLEUM HAND BOOK, SIXTH EDITION;ELSEVIER 1983.

## 5. Loyal Dutch Shell 刊行物

A CENTURY IN OIL, The “Shell Transport and Trading Company” .

1897-1997

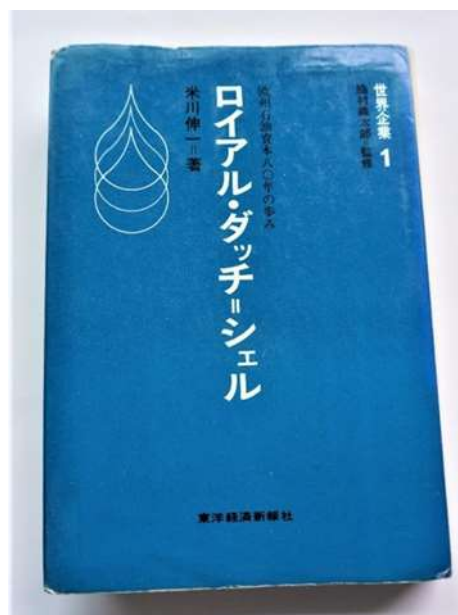


## 6. 国内発行;シエルに関する単行本

①欧州石油資本 80 年の歩み. ロイヤル・ダッチ=シエル

米川伸一著 東洋経済新報社 昭和 44 年 11 月 25 日発行

マークスサミュエルによって横浜から創業したシエルトランスポートとジャワのたばこ畑から企業化に至った蘭系ダッチ石油が合併し、世界的大企業に成長した経緯が書かれています。





②. THE PRIZE 石油の世紀 上下, ダニエル・ヤーギン

1991年4月1日発行 日本放送出版協会



③. ユダヤ商法 マーヴィン・トケイヤー

2000年9月7日初版発行

日本経営合理化協会出版局

ユダヤ商法の哲学とマーカス  
サミュアルのことが書かれて  
います。



④その他、シェル石油、昭和シェル石油時代のもの；

- ・昭和シェル石油 30 年史(I, II 卷)ENERGIZING THE FUTURE



・シェル石油、リテール販売部に所属していた当時サービス・ステーション(SS)での売り上げ増益施策として、M+CDS (Mogas の販売量+付加価値販売としてガドックサービス CDS)として車の6ヶ月点検を行うことを重点策として全国的に展開していました。

当時、日野にあった中央研修所に全国から SS マンを集めて安全走行のための車の整備点検の研修を行っていましたが、安全走行に関わる一律な項目の点検法を自らモデルになってマニュアル作成により指導していた懐かしい思い出です。



## II. ビデオ;

### ① 石油の世紀 6巻 NHK/BS TVで放映されたもの



### ② CD; A History of Royal Dutch Shell として、Oxford University

Press が発行したもので三巻から構成されています。第一巻は1890～1939、第二巻は1939～1973、第三巻は1973～2007で創業から世界的企業に成長する歴史が世界情勢の移りとともに掲載されている永久保存版に相当する価値がある貴重な資料です。  
(CD付です。)



### Ⅲ. 思い出の SHELL GOODS に関するもの

- ① 手帳;毎年カレンダーと共に会社から支給されてきました。



- ② シェルマークが印字された文具

鉛筆、ペン皿、ボールペン、カッター、しおり等、懐かしいものばかりです。  
ペン皿はライジングサン提供の品です。



### ③タイピン、カフスボタン等



### ④パプアニューギニアの地図(SHELL MAP;PAPUA NEW GUINEA)

新婚旅行で「トリバネチョウ」の採集目的にパプアニューギニアに行った時に参照した地図です。当時はまだ未開の国で、日本ではパプアニューギニアに関する情報はほとんど得られなかったのですが、多分、シェル・オーストラリアが発行した地図だと思いますが、現地の観光で多いに参考になりました。

ニューギニアでの採集した蝶の標本及び日本国内で採集した標本は、現在八王子市に寄贈して、旧稲荷山小学校の博物館保管用施設で管理されています。



以上